

### (3) 長崎県農林技術開発センター

#### ばれいしょ「西海37号」

##### 1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海37号	長系132号	愛系151	T04051-14	西海35号×西海33号

##### 2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で3日早く、秋作では7日早い。茎長は春秋作とも「ニシユタカ」より長く、熟性は中晩生である。皮色、肉色とも黄色、でん粉価は春作・秋作とも14%前後で高い。上いも重は春作で350kg/a、秋作で230kg/aと少収である。平均1個重は春作で78g、秋作で77gとMサイズが中心となる。機能性成分であるカロテノイドを含み肉色は黄色で、蒸しいもはや粉質で、ナッツフレーバーを有し、食味は良い。フレンチフライ適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、青枯病に強い病虫害複合抵抗性系統である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 <sup>1)</sup>	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個重 (g)	上いも重		規格別割合(%) <sup>2)</sup>					でん 粉価 (%)	腐敗 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S		
春作	西海37号	3.14	49	1.8	中晩生	7.3	78	350	81	1	12	34	39	14	14.7	2.6
	ニシユタカ	3.17	39	1.5	中晩生	5.1	137	426	100	22	40	24	12	3	11.3	0.2
秋作	西海37号	9.26	49	2.1	中晩生	4.7	77	230	92	0	3	15	45	37	13.6	0.5
	ニシユタカ	10.03	40	2.1	中晩生	3.6	112	269	100	7	18	30	31	13	10.0	0.4

注1) 春作マルチ栽培:2007~2014年の平均値、秋作普通栽培で2006~2014年の平均値

2) 春作:3L:220g以上、2L:220~140g、L:140~90g、M:90~50g、S:50~30g

秋作:3L:260g以上、2L:260~180g、L:180~120g、M:120~70g、S:70~40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種系統名	塊茎				裂開 (%)	二次 生長(%)	ストロン の長さ
		皮色	形	目の 深淺	表皮の ネット			
春作	西海37号	黄	短卵	浅	微	0.6	0.0	中
	ニシユタカ	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	0.7	0.6	短
秋作	西海37号	黄	短卵~球	浅	微	0.6	0.0	やや短
	ニシユタカ	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	2.3	0.4	短

表3 調理特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種系統名	蒸しいも			
		肉色	肉質	食味	黒変
春作	西海37号	黄	やや粉~粉	良	微
	ニシユタカ	淡黄	中	やや否	微
秋作	西海37号	黄	やや粉~粉	良	微
	ニシユタカ	淡黄	中	やや否	微

表4 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ	そうか病	青枯病	疫病	ジャガイモYウイルス <sup>5)</sup>	
	シストセンチュウ <sup>1)</sup>	<sup>2)</sup>	<sup>3)</sup>	<sup>4)</sup>	0系統	N系統
西海37号	抵抗性	中~やや弱	強	やや弱	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性	感受性

注1)、5) (地独)道総研における2007~2008年のデータによる判定結果

2)、3) 馬鈴薯研究室における2006~2014年のデータによる判定結果

4) 馬鈴薯研究室における2007~2013年のデータによる判定結果

# ばれいしょ「西海40号」

## 1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海40号	長系139号	愛系186	T07011-12	愛系158×アイユタカ

## 2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で2日早く、秋作では6日早い。茎長は春秋作とも「ニシユタカ」と同程度、熟性は中晩生である。皮色は淡ページュで、肉色は淡黄、でん粉価は春作で11.4%、秋作では9.5%でやや低い。上いも重は春作で421kg/a、秋作で381kg/aと多収であり、平均1個重は春作で134g、秋作で143gと大きい。蒸しいもの肉質は中～やや粘で、食味は中程度、サラダ加工適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルス、ジャガイモXウイルスに抵抗性を有し、青枯病に対しても中程度の抵抗性を有する。貯蔵中の腐敗も少ない。

表1 生育・収量調査成績 (長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 <sup>1)</sup>	品種系統名	出芽期 (月, 日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合 (%) <sup>2)</sup>					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	西海40号	3.15	42	2.1	中晩生	5.0	134	421	100	24	37	24	11	3	11.4
	ニシユタカ	3.17	38	1.5	中晩生	5.2	133	419	100	19	39	26	13	3	11.2
秋作	西海40号	9.27	49	2.7	中晩生	4.2	143	381	121	16	31	29	17	8	9.5
	ニシユタカ	10.03	49	2.2	中晩生	4.3	115	317	100	8	16	30	31	15	9.7

注1) 春作：2010～2014年の平均値、秋作：2010～2014年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果 (長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ページュ	短卵	やや浅	少	0.1	0.9	淡黄	中	やや否
秋作	西海40号	やや短	淡ページュ	球～短卵	浅	微	2.9	0.0	淡黄	中～やや粘	中
	ニシユタカ	やや短	淡ページュ	短卵	やや浅	少	0.3	1.5	淡黄	中～やや粘	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種系統名	ジャガイモ				ジャガイモ	
	シストセンチュウ <sup>1)</sup>	そうか病 <sup>2)</sup>	青枯病 <sup>3)</sup>	疫病 <sup>4)</sup>	Yウイルス <sup>5)</sup>	Xウイルス <sup>6)</sup>
西海40号	抵抗性	やや弱	中～やや弱	やや弱	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	弱	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

6) DNAマーカーにより判定

# ばれいしょ「西海41号」

## 1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海41号	長系141号	愛系176	T06090-1	T03126-6×T04062-41

## 2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で3日早く、秋作では7日早い。茎長は春・秋作とも「ニシユタカ」と同程度、熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュ、肉色は淡黄、でん粉価は春作で13.4%、秋作で11.2%である。上いも重は春作で409kg/a、秋作で358kg/aで多収であり、平均1個重は春作で121g、秋作で122gとやや大きい。蒸しいもの肉質は中～やや粉で、食味は春作・秋作ともにやや良、フライ適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、青枯病に対して中程度の抵抗性を有する。

表1 生育・収量調査成績 (長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 1)	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均1 個重 (g)	上いも重		規格別割合 (%) <sup>2)</sup>					でん粉 価 (%)
								(kg/a)	標準比	3 L	2 L	L	M	S	
春作	西海41号	3.14	38	1.8	中晩生	5.4	121	409	96	18	35	28	16	4	13.4
	ニシユタカ	3.17	37	1.5	中晩生	5.1	137	424	100	22	39	24	12	3	11.6
秋作	西海41号	9.26	43	2.8	中晩生	4.6	122	358	117	7	22	33	27	11	11.2
	ニシユタカ	10.03	48	2.2	中晩生	4.2	117	307	100	8	18	30	30	14	9.6

注1) 春作：2009～2014年の平均値、秋作：2009～2014年の平均値

2) 春作：3 L：220g以上、2 L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3 L：260g以上、2 L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果 (長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵	淺	少	0.2	0.9	淡黄	中	やや否
秋作	西海41号	やや短	淡ベージュ	卵～短卵	淺	微	3.9	0.2	明黄	中～やや粉	やや良
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵～球	やや淺	少	0.5	1.2	淡黄	中	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種系統名	ジャガイモ シストセンチュウ <sup>1)</sup>				ジャガイモ Yウイルス <sup>5)</sup>
	そうか病 <sup>2)</sup>	青枯病 <sup>3)</sup>	疫病 <sup>4)</sup>		
西海41号	抵抗性	やや弱	中	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

# ばれいしょ「長系150号」

## 1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系150号	愛系226	T10083-2	T07102-17×愛系172

## 2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で3日早く、秋作では4日早い。茎長は「ニシユタカ」より春作、秋作とも長い。熟性は「ニシユタカ」より早い早生である。皮色は淡ベージュで、塊茎によって、目の部分はわずかに紫色を帯びる。肉色は淡黄、でん粉価は春作では14.0%、秋作では10.7%で「ニシユタカ」より高い。上いも重は春作で422kg/a、秋作で350kg/aで「ニシユタカ」に比べ多収であり、平均1個重は春作で115g、秋作で117gでやや小さい。蒸しいもの肉質はやや粘質～中、食味は中～やや良であり、チップ適性、サラダ適性を有する。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスおよびXウイルス抵抗性を有し、青枯病に対しても強、疫病には真性抵抗性遺伝子R2を有し、抵抗性である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 <sup>1)</sup>	品種系統名	出芽期 (月,日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重(g)	上いも重		規格別割合(%) <sup>2)</sup>					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系150号	3.12	40	1.8	中早生	5.8	115	422	97	12	36	31	16	5	14.0
	ニシユタカ	3.15	29	1.2	中晩生	4.7	145	436	100	23	45	23	8	2	13.4
秋作	長系150号	9.29	49	2.5	中早生	4.6	117	350	108	8	17	33	30	13	10.7
	ニシユタカ	10.03	48	2.3	中晩生	4.3	119	330	100	10	16	30	30	15	9.4

注1) 春作:2013~2014年の平均値、秋作:2012~2014年の平均値

2) 春作:3L:220g以上、2L:220~140g、L:140~90g、M:90~50g、S:50~30g  
秋作:3L:260g以上、2L:260~180g、L:180~120g、M:120~70g、S:70~40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球形	浅	少	0.2	1.0	淡黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系150号	やや短	淡ベージュ	球形	浅	微	1.6	0.2	淡黄	中	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球形	浅	少	0.5	1.1	淡黄	やや粘～中	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種系統名	ジャガイモ				ジャガイモ	ジャガイモ
	シストセンチュウ <sup>1)</sup>	そうか病 <sup>2)</sup>	青枯病 <sup>3)</sup>	疫病 <sup>4)</sup>	Yウイルス <sup>5)</sup>	Xウイルス <sup>6)</sup>
長系150号	抵抗性	やや弱	強	強(R2)	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

6) DNAマーカーにより判定

# ばれいしょ「長系147号」

## 1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系147号	愛系214	T09030-30	T06033-3×西海37号

## 2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で2日早く、秋作では3日早い。茎長は「ニシユタカ」と春作・秋作で同等である。熟性は「ニシユタカ」より早い早生である。皮色は淡ベージュである。肉色は淡黄、でん粉価は春作では12.1%、秋作では9.5%で「ニシユタカ」並である。上いも重は春作で445kg/a、秋作で329kg/aで「ニシユタカ」並であり、平均1個重は春作で142g、秋作は114gで「ニシユタカ」並である。蒸しいもの肉質は中～やや粘質、食味は中～やや良である。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルス抵抗性を有し、青枯病に対しても中程度の抵抗性を有する。

表1 生育・収量調査成績（長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室）

作型 1)	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合 (%) <sup>2)</sup>					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系147号	3.15	39	1.4	早生	5.0	142	445	97	30	36	21	10	3	12.1
	ニシユタカ	3.17	36	1.4	中晩生	5.2	141	462	100	21	44	25	9	2	12.7
秋作	長系147号	9.30	48	2.5	早生	4.5	114	329	101	9	15	26	35	15	9.5
	ニシユタカ	10.03	48	2.3	中晩生	4.3	119	330	100	10	16	30	30	15	9.4

注1) 20010～2013年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g  
秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果（長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室）

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
春作	長系147号	中	淡ベージュ	球～短卵	極淺	微	0.2	1.7	淡黄	中～やや粘	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球～短卵	淺	少	0.2	0.9	淡黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系147号	やや短	淡ベージュ	球～短卵	極淺	微	0.2	0.3	淡黄	中～やや粘	中～やや良
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球形	淺	少	0.5	1.1	淡黄	やや粘～中	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種 系統名	ジャガイモ				ジャガイモ Yウイルス <sup>5)</sup>
	シストセンチュウ <sup>1)</sup>	そうか病 <sup>2)</sup>	青枯病 <sup>3)</sup>	疫病 <sup>4)</sup>	
長系147号	抵抗性	やや弱	中	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性

注1), 5) DNAマーカーにより判定

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

# ばれいしょ「長系142号」

## 1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系142号	愛系190	T07048-25	西海37号×長系131号

## 2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で同等、秋作では2日早い。茎長は「ニシユタカ」より春作では長く、秋作では同程度である。熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュで目の部分は赤みを帯びる。肉色は明黄、でん粉価は春作で13.2%、秋作で11.5%である。上いも重は春作で386kg/a、秋作で283kg/aで「ニシユタカ」より低収であり、平均1個重は春作で128g、秋作で109gとやや小さい。蒸しいもの肉質はやや粉質で、食味は春作・秋作ともにやや良である。フライ適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、青枯病に対してやや強である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 <sup>1)</sup>	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合(%) <sup>2)</sup>					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系142号	3.17	50	1.6	中晩生	5.0	128	386	92	19	36	29	13	3	13.2
	ニシユタカ	3.17	38	1.5	中晩生	5.2	133	419	100	19	39	26	13	3	11.6
秋作	長系142号	10.01	48	2.1	中晩生	4.1	109	283	89	4	16	29	35	15	11.5
	ニシユタカ	10.03	49	2.2	中晩生	4.3	115	317	100	8	16	30	31	15	9.7

注1) 2010~2014年の平均値

2) 春作: 3L: 220g以上、2L: 220~140g、L: 140~90g、M: 90~50g、S: 50~30g  
秋作: 3L: 260g以上、2L: 260~180g、L: 180~120g、M: 120~70g、S: 70~40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン 長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵~球	やや浅	少	0.1	0.7	淡黄	中	やや否
秋作	長系142号	短	短ベージュ(赤)	球	浅	少	0.1	0.2	明黄	やや粉	やや良
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵~球	やや浅	少	0.3	1.5	淡黄	中~やや粘	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種 系統名	ジャガイモ				ジャガイモ
	シストセンチュウ <sup>1)</sup>	そうか病 <sup>2)</sup>	青枯病 <sup>3)</sup>	疫病 <sup>4)</sup>	Yウイルス <sup>5)</sup>
長系142号	抵抗性	中~やや弱	やや強	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	弱	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

